

○ 本校の概要

・未来社会を主体的、創造的、協働的に生きる児童の育成を目指す 教育目標・・・「健康でねば強い子」「よく考え工夫する子」「みんなのために働く子」
・児童数 618名(通常級 19学級 特別支援学級 4学級)
・本年度の研究教科・研究主題 「思いや考えを伝え合い、学び合う児童の育成～国語科を通して」
・特色ある教育活動 詩集「いけがみ」の発行 一人一鉢栽培 地域清掃 業間体育の実施 異学年交流活動 特別支援学級との交流活動
地域の人材、史跡、自然等の環境を生かした体験的な教育活動

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作りまします'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。